

## 山本学習塾からのお知らせ

H31年3月25日

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉を聞きますが、うまく言い当てた言葉だと感じます。寒いさむいと言っていたのに、春分の日を過ぎたとたんに暖かくなりました。また新学期が始まります。毎年のことですが、特にこの時期には勉強の大切さを、手を変え品を変えて塾生たちに訴え続けております。ある保護者の方がおっしゃっていました。「もう一度学生に戻れるのなら、勉強をがむしゃらにするのに」と。学生のみなさん全てに届いてほしい言葉だと思います。

## ☆4月の予定☆

- 4/8 (月)：入学式、始業式
- 4/8 (月)～13 (土)：塾内テスト  
今月は漢字、単語 100 題テストです  
しっかり練習して満点をとろう
- 4/29 (月)：昭和の日ですが授業があります
- 4/30 (火)～5/6 (月) 塾春休み

## 新学期スタート

漢字・英単語 100 題テストについて  
当塾では毎年 4 月、9 月、1 月に小学生は漢字、中学生は英単語のテストを行っております。それぞれ国語、英語の最も基礎となる知識です。成績に直結する大切なものなので、手を抜くことなく範囲表を見てしっかり練習しましょう。時間がない、覚えられないは理由になりません。努力をしましょう。

## ★今村先生のつばやき★ 30 年度の兵庫県公立高校入試について

今回は 3 月 12 日に行われた公立高校入試問題の傾向と今後の対策についてまとめてみたいと思います。

**国語**：記述問題、複数選択問題が出題されました。今までに見られなかった傾向です。来る大学入試改革に向けて、高校入試の問題もそれに合わせてきたような印象です。後は漢文の返り点、古文の現代仮名遣いの問題、漢字の同音異義語は兵庫県では頻出です。日頃から練習しておく必要があります。

**数学**：問題構成が少し変わりました。やはり入試改革を意識してか、対話形式の設問が見られました。あとは兵庫ではおなじみの複雑条件の確率問題、証明など計算力だけでは解けない問題が見られました。

**社会**：資料や地図から読み解く問題が目立ちました。知識はもちろんですが、出された資料から解答を読み解く力が問われるようになりそうです。

**理科**：昨年が難しかったので、少し解きやすい問題だったのでしょうか。ただ、理科も新傾向を意識して対話問題や資料・実験からの問題、天気図などが出題されていました。普段からニュースや天気予報を見て一般常識を身につけておかないと苦しい問題がありました。

**英語**：どちらかというと例年通り。長文、対話文が多めのテストとなります。

**まとめ**：総合的に 2020 年からの入試制度改革を意識した作りの問題が出始めたように思います。来年以降もその流れがより強くなると思われますので、普段から資料の読み解きや時事問題への関心、文章構成力、読解力を練習して来る高校入試に備えていきましょう！